

## — 楽しみな野良めし —

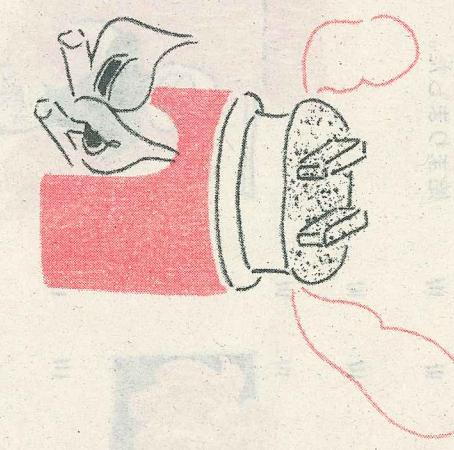
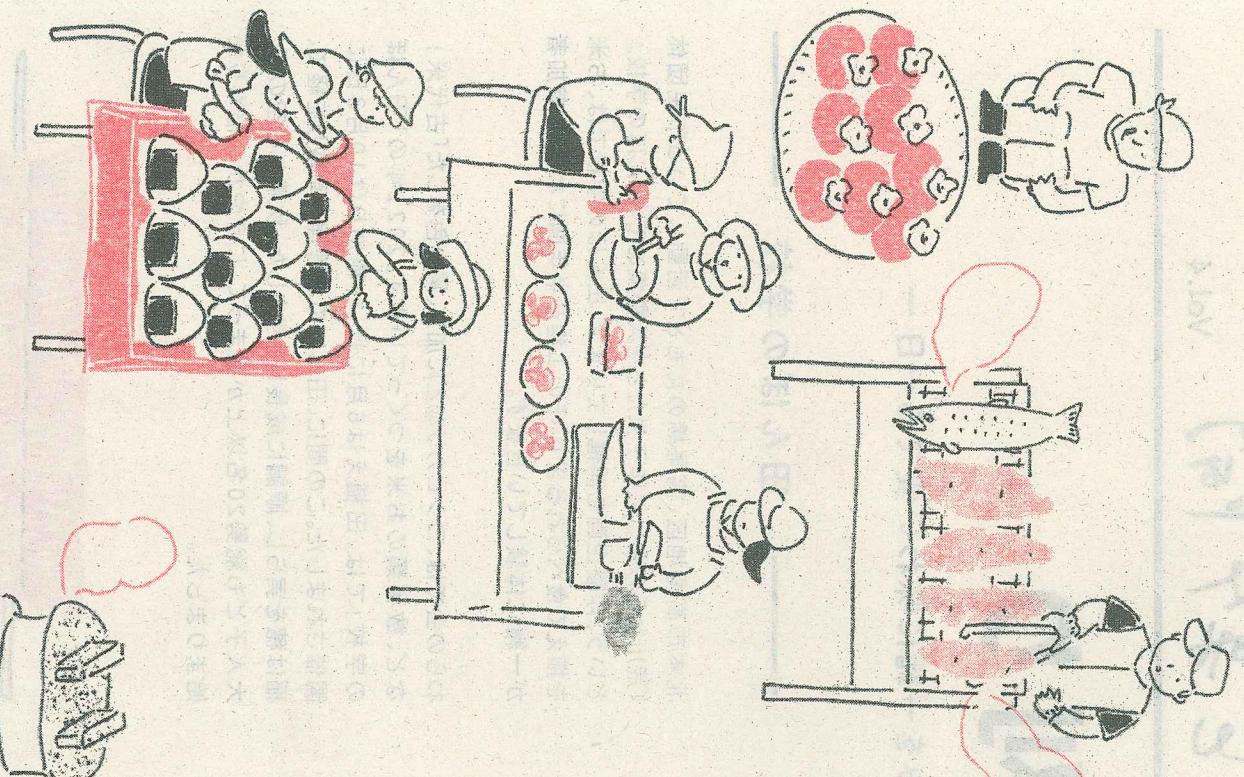
稲刈りは力作業の連続で、お腹もペコペコに。この日の野良めしは、力マドで炊いた新米おにぎりです。わらの会田んぼで一足早く採れた新米を、シンプルにおにぎりで頂きます。野良めしは、畑にある旬の野菜をふんだんに使った賄いご飯です。朝から野良めしを楽しみに、作業に参加する人もいるほど。わらの会では、皆で食卓を囲むことをとても大事にされています。

この日の野良めしの準備は、朝からわらの会のおばちゃん達が担ってくれました。塩おむすびと、炭火で焼いた鮭のおむすび。焼き芋や自家製お漬物などが食卓に並びます。食後には柿のデザートも。澄み渡った空の下で頑張るおにぎりは、最高のご馳走です。

「おこげいる人、こっちおいでー！」

おばちゃんが子供たちに呼びかけます。お金の底には、程よく焦げた「おこげ」がたくさん。子供たちは、夢中になつておこげを剥がし口の中へ。食べるごく煎餅みたいで、癖になる味わいです。

「今年は実入りがいいね」大人たちは、鉄瓶で煎れたお茶を飲みながら、午後の作業に備えるひと時を楽しみます。



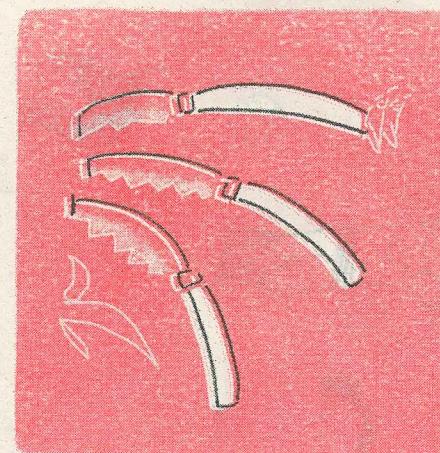
まちごよみ

神無月

わらの会の田んぼについて

昔は稲刈りと言えば、農家では学校を休んで、朝から手伝いをする日だったそうだ。稲刈り休みと呼ばれ、子供たちは、作業を手伝うだけではなく、家で子守なども担当している。田んぼにはあるからだと思う。畑どはまた違った魅力がある。それは、色々な人が関わり合つて余白がある。お米作りは、畑どはまた違つた魅力がある。田んぼにはあるからだと思う。稲刈り合つて、一緒に楽しむ。おこげを切る。竹を切る。結ぶ。運ぶ。掛け。剥いを作れる。それにしても、子供たちは難を追いかける。母に向かって笑う。いなくなつて、その場にいられればいい。わらの会の田んぼで、座っているだけの人もいる。それでもいい。いつにいなつて、座っているだけの人もいる。それにしても、子供たちは難を追いかける。母に向かって笑う。いなくなつて、その場にいられればいい。わらの会の田んぼで、座っているだけの人もいる。それでもいい。

おはやんが教えてくれた。(西野高志)



&green  
funclub  
みどりと  
まつり  
開催

8green

『みどりと新聞』vol.4 2022年3月発行

制作:北本市市長公室 デザイン:黒川早苗 イラスト:梅田沙織

